

尾北イノベーション

第 1 章



漕ぎ出せ、尾北から

広島県立尾道北高等学校

広島県立尾道北高等学校 第1学年

尾北イノベーション

年間指導計画 ー総合的な学習の時間編ー

本単元計画は、探究活動の計画を示すものであり、総合的な学習の時間と関連させて実施する産業社会と人間、進路 LHR、教科の単元・学習内容（探究活動に必要な研究の手法、情報の分析法、尾北検定等）は別途作成し、実施する。

	月	回	単元名	学習形式	主な学習内容
探究基礎Ⅰ（ローカルエクスプローリングⅠ）	4月	1	オリエンテーション① 「尾北イノベーション」とは何か	一斉 講義	これからの社会がどのように変化していくのかを知る。これからの社会で必要な力は何かを知る。
		2	オリエンテーション② 「これからの社会で必要な力」とは	グループ 協議	「これからの社会で必要な力は何か」を考える。
	5月	3	グローバル課題を知る①	一斉 講義・協議	「伊勢志摩サミット」で、世界の首脳は何を語り、何を決めたのかを知る。
		4	グローバル課題を知る②	グループ 協議	「伊勢志摩サミット」に関する新聞記事の読み比べ 過去のサミット主要テーマ「エネルギー」、「市場開放」、「環境」、「IT」
		5	グローバル課題を知る③	グループ 協議	
	6月	6	探究手法の習得①	グループ ワークショップ	「尾道北高校の PR」などのさまざまなテーマを設定し、ワークショップ（ブレインストーミングや KJ 法等）を行う。
		7	探究手法の習得②	グループ ワークショップ	「グローバル社会で生きるには」などのさまざまなテーマを設定し、ワークショップ（ワールドカフェ）を行う。
	7月	8	地域課題について考えるⅠ-①	一斉 講演	地域の政策を知る①（広島県総務局経営企画チーム） 「ひろしま未来チャレンジビジョン」を知る
		9	地域課題について考えるⅠ-②	一斉 講演	地域の政策を知る②（尾道市役所企画財務部、産業部） 「尾道市総合計画」を知る
	8月	10	地域課題について考えるⅠ-③	グループ ワークショップ	わたしたちが考える広島の未来
		11	地域課題について考えるⅠ-④	グループ フィールドワーク	尾道市内フィールドワーク
	9月	12	地域課題について考えるⅠ-⑤	グループ ワークショップ	わたしたちが考える広島の未来
		13	地域課題について考えるⅠ-⑥	発表	ポスターセッション、プレゼン等
探究基礎Ⅱ（ローカルエクスプローリングⅡ）	10月	14	地域課題について考えるⅡ-①	一斉 講演	他校のプロジェクトから学ぶ「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」（島根県教育魅力化特命官：岩本悠氏）などを想定
		15	地域課題について考えるⅡ-② グローバル講演	一斉 GW	NPO による講演（講演者：調整中） 講演内容に関するワークショップ（ワールドカフェ）
	11月	16	地域課題について考えるⅡ-③ グローバル課題と地域課題について考える	グループ 協議	「伊勢志摩サミット」の主要課題と（グローバル課題）と地域課題の共通性について考える。
		17	地域課題について考えるⅡ-④	グループ ワークショップ	わたしたちが考える広島の未来
	12月	18	地域課題について考えるⅡ-⑤	発表	英語によるプレゼン

	月	回	単元名	学習形式	主な学習内容
探究応用(グローバルエクスプローリング)の1年次部分	1月	19	グローバル課題について考えるⅠ-① グローバル講演	講演	NPOによる講演(講演者:調整中) 講演内容に関するワークショップ(ワールドカフェ)
	2月	20	グローバル課題について考えるⅠ-②	進路希望別グループ協議	進路希望別のグループ構成による課題発見 グローバル課題と地域課題について考える
		21	グローバル課題について考えるⅠ-③	進路希望別グループ協議	進路希望別のグループ構成による課題発見 グローバル課題と地域課題について考える
		22	グローバル課題について考えるⅠ-④ 研究の方法を知る	進路希望講演	「調べるとは」「研究とは」に関する学習(外部指導者招聘)
		23	グローバル課題について考えるⅠ-⑤	進路希望別グループ	課題設定 研究の方向性について発表(大学・企業等との連携)
		24	グローバル課題について考えるⅠ-⑥	グループ発表	ポスターセッション、プレゼン等 研究の方向性
	3月	25	グローバル課題について考えるⅠ-⑦	グループ協議	研究内容の修正・協議(大学・企業等との連携)
		26	グローバル課題について考えるⅠ-⑧	グループフィールドワーク	広島県内フィールドワーク

表中の回は、1回につき2～3時間配当する場合がある。